

東京大学史料編纂所所蔵の

しまづけもんじよ
島津家文書

と

しまづけぼん
島津家本

◀島津家本のうち、琉球御掛衆懸按之覧（部分）（東京大学史料編纂所所蔵）
請求記号：島津家本-ざい-12-33-158

2026.

9.19^土

入場無料

14:00～16:00

（開場 13:30）

講師 畑山周平 氏（東京大学史料編纂所）

会場 3階 講堂

受付 当日先着（定員200席）

お問合せ 098-941-8200

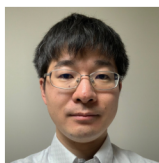
主催 沖縄県立博物館・美術館

東京大学史料編纂所の所蔵品のうち、琉球とのかかわりが深いものとして、国宝「島津家文書」が有名ですが、博物館企画展「時を超えて過去から未来へ」では「島津家本」という、似た名前の史料群も展示されています。両者はどのような関係にあるのでしょうか。

島津家文書と島津家本の中に含まれる琉球関係史料を紹介しつつ、それぞれの特徴を考えてみたいと思います。

【キーワード】

#東京大学史料編纂所 #島津家文書 #島津家本 #時を超えて過去から未来へ



【講師】畑山周平（はたやま しゅうへい）東京大学史料編纂所 助教

1988年神奈川県生まれ。大学在学中にゼミで薩摩島津氏の史料に触れたことをきっかけにして、現在に至るまで、島津氏の歴史および史料を主な研究対象としている。論文に「島津氏関係史料研究の課題」（黒嶋敏・屋良健一郎編『琉球史料学の船出』勉誠出版、2017年）などがある。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

※席数に限りがあり、ご入場いただけない場合がございます。

※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

